



2026年1月14日

各 位

会社名 株式会社ラクト・ジャパン
代表者 代表取締役社長 小島 新
(コード番号: 3139 東証プライム市場)
問合せ先 I R 広報部長 石黒 裕子
(TEL. 03-6281-9752)

中期経営計画「NEXT-LJ 2028」策定のお知らせ

当社は、2026年11月期から始まる3か年の中期経営計画として「NEXT-LJ 2028」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社グループは、乳原料・チーズを主とし、食肉や加工品も含めた食品原料・製品を世界各国から輸入販売する企業として、「食文化」と「健康」を支える使命感を持ち、日々努めています。

足許では、世界的な保護主義や地政学的な不確実性が高まる中、日本国内では物価上昇が想定以上に加速したものの、個人消費は賃金上昇や雇用拡大、資産効果により底堅く推移しました。その一方で、物価上昇はコスト増加による価格転嫁の進展によるところが大きく、デフレ脱却の過渡期にあると考えられます。

かかる状況下、世界各国で開拓した多様なサプライソースを駆使し、価格競争力のある原料の安定的な供給により、お客様のサプライチェーンの維持・向上に貢献するとともに、販売の拡大に努めてまいります。従来からの持続的な成長を目指す方向性に変わりはなく、引き続きグローバルに展開する商社事業とアジアにおいて製造事業を営む独自のビジネスモデルを確立してまいります。

2. 「NEXT-LJ 2028」の概要

本中計期間を未来成長に向けた基盤づくりと捉え、『つなぐ tsu-na-gu』をコンセプトに現状のビジネスを拡大させながら、設立30周年を迎える2028年以降の飛躍に向けた準備を着実に進めて参ります。

(1) 目指す姿

未来成長に向けた基盤づくり

(2) コンセプト

ラクト・ジャパングループが約束する3つの「つなぐ」

- ①食と健康をつなぐ ②価値をつなぐ ③志をつなぐ

(3) 基本方針

- ・成長領域への集中と価値創出力の向上
- ・資本収益性の向上
- ・グローバル人材の強化

(4) 主要戦略

- ・国内は成長分野への集中とサプライチェーンの強靭化
- ・海外は市場深耕と拡大、新工場稼働で成長を加速
- ・複合型食品企業の取組みによる付加価値創出力の向上
- ・財務体質・資本収益性の向上による株主価値の向上
- ・人的資本経営の推進とグローバル人材の強化で成長基盤を盤石化
- ・サステナビリティの取組みを推進

(5) 計数目標

(業績目標)

| | 2025年11月期 実績 | 2026年11月期 予想 | 2028年11月期 計画 |
|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 連結売上高 | 1,828億円 | 1,930億円 | 2,100億円 |
| 連結経常利益 | 57.9億円 | 48.0億円 | 60億円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 43.1億円 | 34.5億円 | 43.5億円 |

(財務目標)

| | 2025年11月期 実績 | 2028年11月期 計画 |
|----------|-----------------|-----------------|
| ROE | 14.4% | 10~12% |
| 配当性向 | 30.5% | 35% |
| 連結自己資本比率 | 35.9% | 35~40% |

(6) 株主還元方針

当社は、株主の皆さんに対する適切な利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、成長投資と財務の健全性および自律性を維持しつつ、積極的な株主還元を継続し、企業価値の向上と資本効率の向上を目指してまいります。

剰余金の配当につきまして当社は、2015年の上場以来、安定配当かつ増配を継続しつつ、2025年11月期には中期的な目標であった配当性向30%程度を達成するに至りました。このような配当実績ならびに今後の業績見通しや財務状況等を総合的に勘案し、株主還元の強化に対する当社の姿勢をより明確化する観点から、配当性向の目標を35%に引き上げるとともに、「累進配当」を配当方針に追加することいたしました。

なお、詳細につきましては、弊社HPに掲載の資料をご参照ください。

<https://www.lactojapan.com/ja/ir/management/plan.html>

以上